

(第2号様式)

小 禄 第 2160 号
令和8年 3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立小禄高等学校
校長 名 幸 哲
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月19日	場所	小禄高校小会議室	出席状況	4名出席 1名委任
第2回	日時	令和7年12月25日	場所	小禄高校小会議室	出席状況	5名出席
第3回	日時	令和8年3月19日	場所	小禄高校小会議室	出席状況	4名出席 1名委任

2 学校評議員に求めた事項

第1回:学校経営方針、教育活動状況、進路部の取組と進路状況、生徒指導方針や取組と現状報告等行った後、質疑応答を行い、各評議員の立場から意見をいただいた。
第2回:学校経営方針、教育活動状況、進路部の取組と進路状況、生徒指導方針や取組と現状報告等行った後、質疑応答を行い、各評議員の立場から意見をいただいた。
第3回:学校経営方針、教育活動状況、進路部の取組と進路状況、生徒指導方針や取組と現状報告等行った後、質疑応答を行い、各評議員の立場から意見をいただいた。

3 学校評議員の意見

①観点別評価の組み合わせを改善した点は良かったと思う。新しい学習指導要領から3年目ということもあり、教師側も生徒を適切に評価できるように研究を進めていくことが重要だと思う。
②皆出席者数を集計しない学校も増えているようだが、どのように考えているか。
③那覇みらい支援学校との交流会について、どのような取組を行っているか。
④SNSトラブルだけでなく、生成AIを用いて個人の画像を加工、拡散するなど全国的にも事件が相次いでいる。デジタルタウナーのように、現在から未来にまで影響を及ぼし、刑事だけでなく損害賠償など民事に関わる大きな問題である。生徒や先生方への周知・理解を深める必要がある。

4 学校運営に反映した事項

①観点別評価は、今年度4月から一部改善した。今後も、研究・改善を進める必要がある。
②皆出席者の取扱いについては、他校の取組も含め様々な意見があることから、検討を進めていく。
③那覇みらい支援学校との交流についても、1学年を主体として生徒の意見も取り入れ、既存の取組の充実を図るかたちで進めていく。
④SNSトラブルや個人の画像・動画等の加工・拡散については、事件性も高く次年度の薬物乱用防止講話等と併せて周知を図っていく。

5 課題その他

今年度の3年生は、100名余りが大学入学共通テストを受験し、国公立大学に38名が合格するなど、近年にない成果を取めた。これらの成果は、今年度に限らず、ここ数年にわたり先輩たちが部活動と受験の両立に粘り強く取り組み、着実に実績を積み重ねてきたことが好影響を及ぼしているものと考えられる。今後も、生徒の進路選択の早期化を促すとともに、より一層計画的な受験意識の向上を図り、最後まで粘り強く取り組む姿勢を支援していく。